

市政ニュース 速報版

2018年9月27日 日本共産党 岡山市議団 NO. 237
岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

9月議会
閉会

生活再建支援に力そそいだ議会論戦

2018年9月定例岡山市議会は27日、西日本豪雨災害からの復旧復興をめざす補正予算91億円をはじめとする全43議案を全て可決し、国に教育予算の充実や少人数学級などを求める陳情を全会一致で採択して閉会しました。

学校へのエアコン設置は、中学校と幼稚園は来年夏に間に合うよう整備、小学校も設置に向けたスケジュールを速やかに検討と、これまでの市方針を前倒しすることが表明されました。

党市議団は5議案に反対しました。内容は次の通りです。

- 市立幼稚園や保育園を廃止民営化してこども園化することに関する議案
- どんどんふくれ上がる富吉新斎場の費用
- 東山斎場や市民病院の料金値上げにつながる条例改定



反対討論を行う東つよし市議



全国から集まった募金を大森市長に手渡す
党市議らと菅原おさむさん（左から2人目）

豪雨災害から3カ月近く経ちますが、今でも「1階は畳も床板もはいだままの状態、2階で寝起きしている」という方がいます。

住家の被害判定で、同じ市内でも地域によって基準に差があったり、床上130センチの浸水でも「半壊に至らない」と認定されたりする事例があります。家を修理するための「応急修理制度」は、額が不十分なうえに手続きが極めて煩雑で、利用をあきらめた方もいます。

党市議団を始め、今議会で質問に立った全ての議員が豪雨災害を取り上げた中で、岡山市の支援策にも前進がありました。いくつかをご紹介します。お困りのことがあればご相談ください。

アンケート

- 床下浸水世帯にも義援金（り災証明書が必要なので、今からでも手続きを！）
- 家屋解体や土砂混じりがれきの公費撤去（9/28から申請開始）
- 笹ヶ瀬川右岸（西側）の排水ポンプ設置計画を2年前倒し（2022年までに整備）
- り災証明書の被害認定は、再調査をしてもらうことが可能